

お客様の信頼に応える興銀グループ 事業金融の専門機関として

当行は、コーポレートファイナンス(事業金融)のプロフェッショナルとして、我が国を代表する優良企業・将来有望な中堅・中小企業や公共セクター、更に海外の有力企業や政府・国際機関等の幅広いお取引先の有する様々な金融ニーズに高度なサービスでお応えすることを通じ、経済・社会に貢献することを使命と考えております。

常に時代の変化を先取りする、 事業金融のトッププレイヤー

当行は、設立以来、「産業とともに歩む」銀行として、常に事業金融に軸足を置き、時代のニーズを先取りして、設備資金の貸出をはじめ様々な形で産業や企業の成長・発展のお手伝いをして参りました。当行の特色である中立性・公共性を背景にした、内外の幅広いお取引先からの強い信頼と高い評価、これこそが当行の最大の財産であります。

当行では、このようなお取引先との強い絆を一層確固たるものとする為、お取引先のニーズを正確に把握し、的確にお応えする為に、日々努力しております。

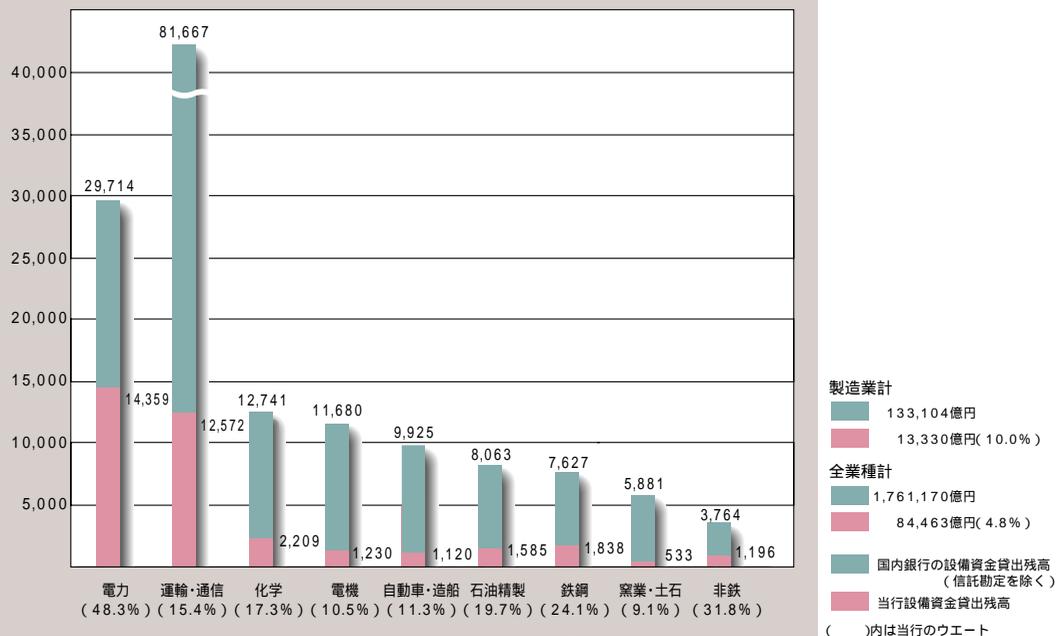
特に近年、企業活動が国際化し、また日本版ビッグバンの進展により内外資本取引の自由化など金融市場における規制緩和が進む中で、お取引先のニーズも大きく変化し、幅広いものになってきております。当行ではこのようなお取引先のニーズの広がりに対応し、体制を整え、広範な新しい金融サービスの提供を行って参りました。具体的には、お取引先資産の流動

化に代表されるバランスシート・コントロール手法の提供、内外にわたるグループ全体での資金の効率的運用のサポート、海外進出に関する総合的なアドバイス、M&Aのアレンジ等で実績を積み上げております。日本版ビッグバンによる規制緩和が進めば、更に新しい金融サービスの分野が生まれ、当行にとっては、大きくビジネスチャンスが広がることとなります。当行は、一人一人の行員の能力向上に努めるとともに組織体制を整え、お取引先の多様なニーズに高度なサービスでお応えするグローバルなコーポレートファイナンス業務を推進して参ります。



全国銀行の設備資金貸出残高に占める当行のウエート(平成10/3末)

(単位:億円)



グループとしての 金融サービス機能の結集

企業の財務ニーズ拡大の流れは、勿論、銀行業務のみに止まるものではありません。金融市場の証券化に伴い、資本市場を利用したファイナンスは高度化・多様化しております。また、資産運用の分野でも、年金資産の運用受託規制の緩和という大きな流れがあります。当行では、このような業務分野の拡大と業務の高度化に対し、グループを挙げて取り組んでおります。

興銀証券(株)は、平成9年度国内公募普通社債の主幹事実績においてトップの実績を挙げておりますし、興銀信託銀行(株)、興銀エヌダブリュ・アセットマネジメント(株)、日本興業投信(株)等、他のグループ会社も、それぞれ順調に成果を挙げております。

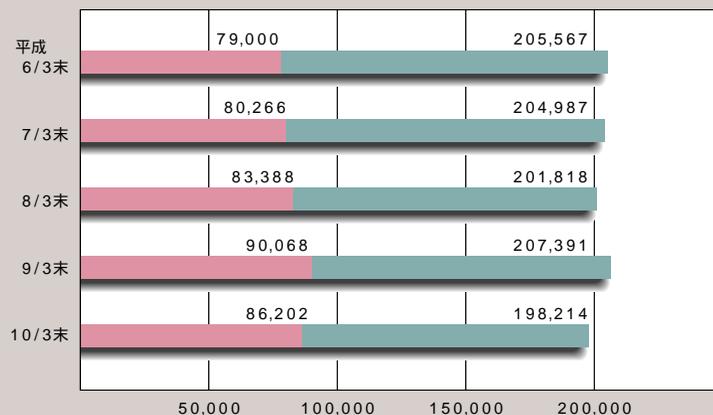
今後、国内の諸規制の撤廃・緩和によりこれらグループ会社の活動分野は大きく広がっていきます。当行では、このような流れの中でグループの力を結集して金融サービスの一層の充実に努め、お取引先にとって役に立つ金融グループとして認知されるよう努力して参ります。

次代を担う成長分野への 積極的な資金供給

産業構造の変化を先取りし、次代を担う成長分野の健全な発展にご協力することは、当行の重要な使命です。当行では、マルチメディアや情報通信関連企業を専門に担当する部として平成8年6月「メディア・情報通信営業部」を新設するなど、成長分野への取り組みを強化して参りました。また、中堅・中小企業は我が国経済に重要な役割を果たすとともに次代の産業の担い手として極めて重要であります。当行は、規制緩和に伴う大企業の新規事業展開や、社会資本整備の分野などに対して積極的に取り組むことは勿論、中堅・中小企業に対する金融についても力を注いできております。既に中小企業等に対する貸出額は、近年では貸出総額の約4割を占めるに至っております。また、いわゆるベンチャー企業への協力の面では英国最大のベンチャーキャピタルである3i社と合併で設立した興銀インベストメント(株)を中心に、単なる資金供給に止まらず、種々のご相談に応じております。当行は長年培ってきたコーポレートファイナンスのノウハウを活かし、幅広く中堅・中小企業の皆様のご発展に協力して参ります。

貸出金の推移

(単位:億円)



注 1. 海外店分及び特別国際金融取引勘定分を含んでおりません。当座貸越を含んでおります。

2. 中小企業等とは、資本金1億円(但し、卸売業は3千万円、小売業・飲食店・サービス業は1千万円)以下の会社または常用する従業員が300人(但し、卸売業は100人、小売業・飲食店・サービス業は50人)以下の会社または個人です。

■ 貸出金総額
■ 中小企業等に対する貸出額